Social & Environmental Report 2010

マブチグループ

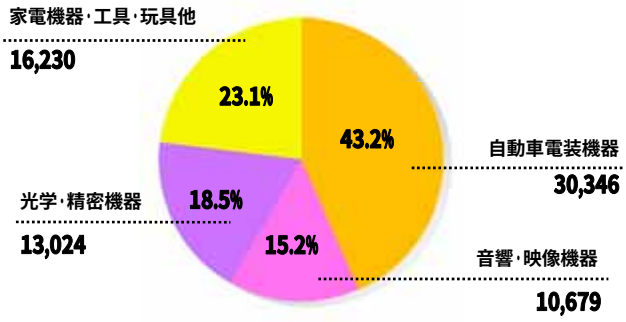
社会・環境報告書　2010

MABUCHI MOTOR

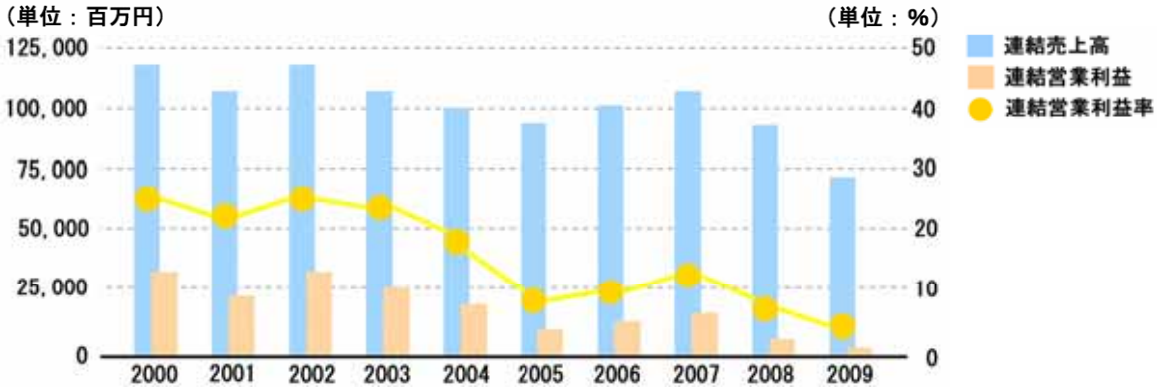
会社概要

商　　号	マブチモーター株式会社 MABUCHI MOTOR CO.,LTD.
創立年月日	1954年1月18日
事業内容	小型モーターの製造販売
資 本 金	207億481万円（2009年12月末現在）
従業員数	本社：751名（2009年12月末現在） ｸﾞﾙｰﾌﾟ：38,251名（2009年12月末現在）
代 表 者	代表取締役社長　亀井愼二
本社所在地	千葉県松戸市松飛台430番地　〒270-2280 TEL：047-710-1111（代表）
技術センター	千葉県印西市竜腹寺280番地　〒270-2393 TEL：047-710-1222（代表）

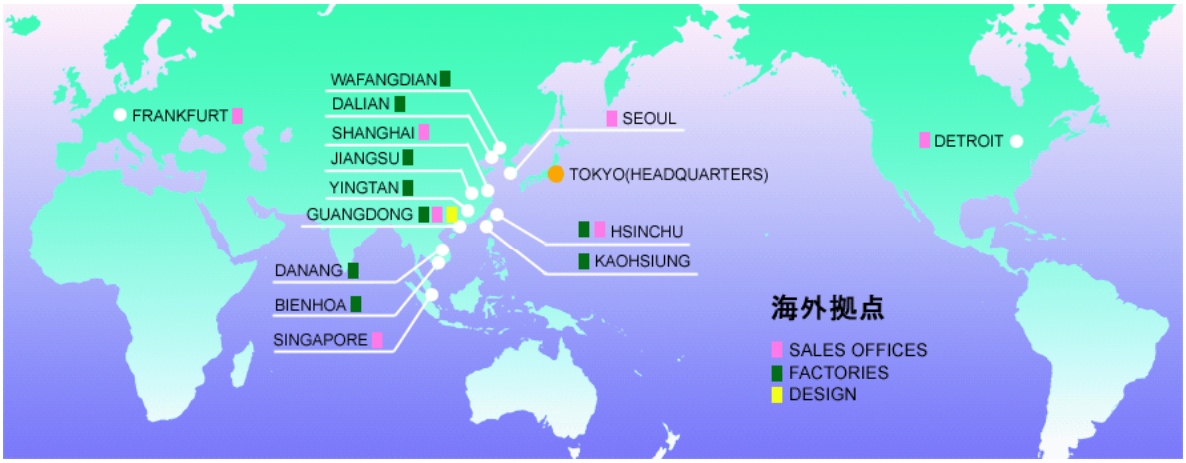
用途市場別売上比率（2009年度）



連結売上高･連結営業利益･営業利益率の推移（2009年度）



ワールドワイドネットワーク（2009年度）



編集にあたって

当社は2001年度に「環境報告書」の発行を開始し、今年で10年目となりました。
2008年には、報告書のタイトルを「環境報告書」から「社会・環境報告書」に変更し、掲載内容も当社の地球環境保全のための環境活動実績から、社会貢献活動実績も含めるように拡張しました。報告書を通じて、当社の企業市民としての社会的責任を果たす姿勢や状況を皆様に報告し続けてきたことを嬉しく思います。これからも報告書の充実に向けて改善を図ってまいります。

尚、環境への配慮から、PDF化した情報を当社ホームページへ掲載し、印刷物による配布は行っておりません。
これからもより一層、活動を充実させ皆様のご期待にそえるよう努力してまいります。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

【対象期間】
2009年度　(2009.1.1～2009.12.31)

【対象組織】

マブチグループ

■本社
日本　・マブチモーター株式会社(本社)

■製造拠点
中国　・萬寶至實業有限公司(香港マブチ、広東工場)
・万宝至馬達大連有限公司(大連マブチ)
・万宝至馬達瓦房店有限公司(瓦房店マブチ)
・華淵電機(江蘇)有限公司(江蘇マブチ)
・万宝至精工(東莞)有限公司(路東マブチ)
・万宝至馬達(鷹潭)有限公司(鷹潭マブチ)
・万宝至馬達(東莞)有限公司(東莞マブチ)
台湾　・華淵電機工業股份有限公司(台湾マブチ)
・萬寶至馬達股份有限公司(高雄マブチ)
ベトナム　・MABUCHI MOTOR VIETNAM LTD.(ベトナムマブチ)
・MABUCHI MOTOR DANANG LTD.(ダナンマブチ)

■販売拠点
・万宝至馬達(上海)有限公司(上海マブチ)
・万宝至馬達貿易(深圳)有限公司(深圳マブチ)
・華淵電機工業股份有限公司(台湾マブチ)
・MABUCHI MOTOR AMERICA CORP.(アメリカマブチ)
・MABUCHI MOTOR (SINGAPORE) PTE.LTD.(シンガポールマブチ)
・MABUCHI MOTOR (EUROPE) GmbH(ヨーロッパマブチ)
・MABUCHI MOTOR KOREA CO.,LTD.(韓国マブチ)

【対象範囲】
モーターの設計、製造、販売、サービスの提供に関わる環境活動及び社会貢献活動の内容

CONTENTS

マブチモーターの全体像

01 会社概要
02 目次
03 トップメッセージ

社会性報告

05 コーポレート・ガバナンス
06 コンプライアンス
07 活気のある職場づくり
09 教育支援活動
11 自然保護への貢献
12 地域支援活動

環境報告

14 環境マネジメントシステム
15 小型省エネモーターの開発
17 グリーン調達の取り組み
18 水資源の節約
19 地球温暖化防止の取り組み
21 環境コミュニケーション
22 その他の環境対応

トップメッセージ

当社の2009年における社会貢献活動や環境活動の実績をまとめた2010年版「社会・環境報告書」が完成しましたのでご覧いただきたいと思います。

CSRへの取り組みについて

今、世界経済は先進地域の個人消費が低迷する一方で、アジアを中心とする新興市場は順調な拡大傾向を見せています。また、さまざまな環境問題が一層深刻さを増しており、あらゆることが過去に例を見ないほどのスピードで動く歴史的な転換期を迎えています。

この状況下で、当社が一段と存在感を高めるためには、競争力の源泉となる製品やサービスの品質が大切なことは言うまでもありませんが、『誠実な企業活動こそが永続的な企業価値の拡大に繋がる』という基本的な認識を深め、社会的責任のあり方を重視し、環境保護に努め、透明性の高い事業活動をすることが、その根幹になければならないと私は考えます。

一般的には、組織の規模が大きくなるにしたがって、また、社会構造の複雑化とともに、『誠実な企業活動』の基準を個人の判断に委ねることは難しくなり、企業としての姿勢が問われることになります。しかし、残念なことではありますが、いままでの日本における企業活動は、法に抵触しないことを主眼に置き、企業としてのモラルや社会的責任への取り組みが不十分であったことは否めません。今日の社会環境の下で、組織内部の違法行為や不正を防ぎ、健全な事業活動を営むには、業務基準や手続きを一層明確なものにし、それに基づいて管理・監視・統制していく仕組みと体制が大変重要な時代になりました。

私は、『企業の社会的責任』は、倫理観と誠実性を第一義とし、持続的に利益を生み出すことの出来る会社を作ることだと思います。世界経済が急変し混迷する中で、強欲に目先の利益拡大を追い求めるやり方には賛同できません。根本的な倫理をわきまえ、日々誠実な対応を積み重ねた上での、長期的、持続的成長こそが私たちの進むべき道であると考えます。

その実現に向け、今後も、全社一丸となって、皆様からの信頼に応えるよう、より一層の経営体質の強化に取り組んで参ります。

地球環境への取り組みについて

CO2排出量の削減が、企業活動を継続していく上で重要なテーマとなってきた昨今、日本政府は世界に向けて「2020年に1990年比25%削減」を公約しました。

今後、企業においても25%削減に向けて努力・協力していく必要がありますが、これは、経済界全体として感じておりますように、大変厳しい目標設定であると認識しております。

環境税や電力全量の買取義務などにより、企業コストの大幅な負担増も予想されることから、不可能を可能にしようとする企業の飽くなき向上心とチャレンジ精神なくしては、その達成はおぼつきません。材料の歩留まり向上、小型化による使用材料の削減、生産工程での技術革新や生産管理システムの見直しによる無駄の撤廃など、消費エネルギーの削減に向けてより一層の努力をして参ります。

また、エネルギーを使用する機器や設備の導入にあたっては、従来の品質、価格、納期などに加えて、今後はエネルギー消費量についても検討項目としていく必要があります。

「環境」という観点では、化学物質管理も重要です。環境負荷物質の法規制やお客様のご要望を真摯に受け止め、深く理解し、確実に対応することを心がけ、お取引先様のご協力を得て、徹底した化学物質の管理を継続していきます。また、製品寿命による廃棄までを視野に入れ、すみやかに再利用・廃棄できるような製品づくりに取り組んでいきます。

当社は、このように社会や環境を強く意識し、配慮する健全な企業体質を強化し続け、誠実な企業活動を行い、社会的責任を果たすことで、皆様から信用され必要とされる企業であり続けたいと考えております。

ぜひこの報告書をご覧いただき、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

今後とも皆様の温かなご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。

経営理念

国際社会への貢献とその継続的拡大

経営基軸

1. より良い製品をより安く供給することにより、豊かな社会と人々の快適な生活の実現に寄与する
2. 広く諸外国において雇用機会の提供と技術移転を行い、それらの国の経済発展と国際的な経済格差の平準化に貢献する
3. 人を最も重要な経営資源と位置付け、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる
4. 地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う

経営指針

1. 汎用性を重視した製品を開発し、その最適生産条件を整備する
2. 価値分析に徹した製品の開発改良と部品・材料の共通化を徹底する
3. 高度加工技術とムダの極小化によるコストダウンを追求する
4. 新市場を開拓し適正占有率を確保する
5. 適材適所による人材の活用と業務を通じた人材育成を行う
6. 環境負荷の極小化と安全の追及を基本とした企業活動を推進する
7. 長期安定的視点に立つ経営施策を推進する

コーポレートガバナンス

当社の基本的な考え方

当社は、小型モーター事業を通した「国際社会への貢献とその継続的拡大」を経営理念に掲げ、その実現にこそ存在意義があるものと考えています。

① 経営上の意思決定と効率的な業務執行が明確な区分をもって行われ、責任の所在があきらかであること

② 適切な内部統制システムが構築され、運用されていること。すなわち、内部牽制システムと経営監視体制が有効に機能していること

③ 一般株主と利益相反のおそれのない独立役員が相当数選任され、経営監視機能の客観性および中立性が確保されていること

④ 企業文化として、企業倫理とコンプライアンスの実践が組織の社会的公平性を支え、すべてのステークホルダーに対する信頼と期待に応える基本であるという認識がグループの全員によって共有されていること

⑤ ステークホルダーに対し、適正、公平、適時、明瞭に企業情報の開示を行うとともに、取締役会・監査役会等によるアカウンタビリティが確保されていること

当社は、これらが確実に実践されるための各種機能をより充実させていきます。

体制・システムの構築

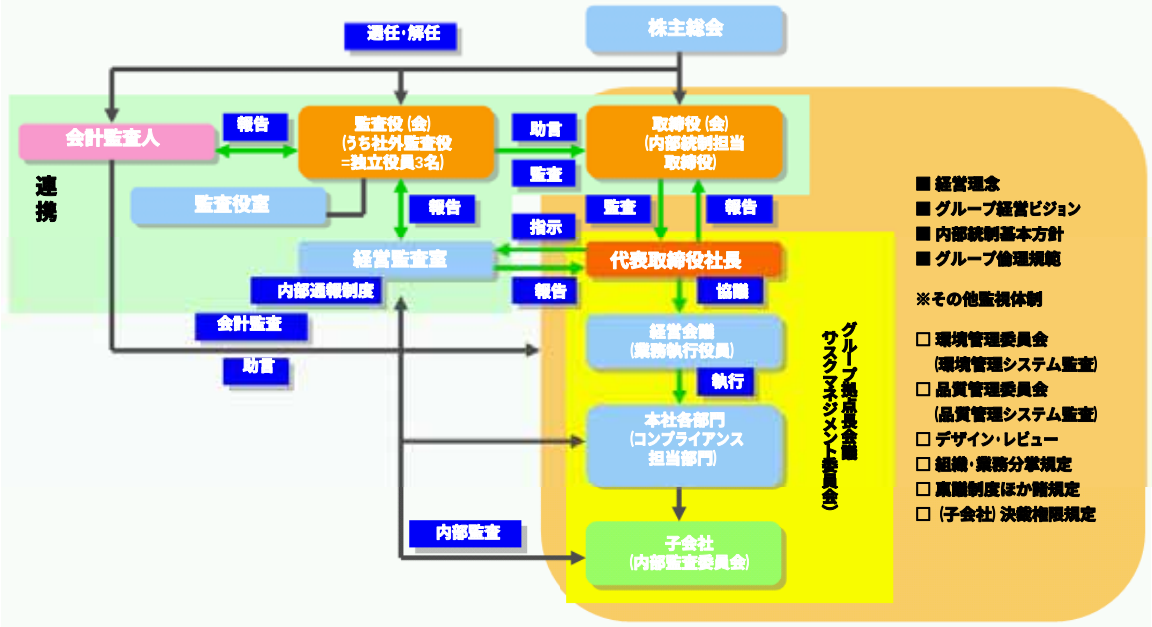
当社は、監査役制度を採用しており、会社法に規定されている会社の機関（独立役員を含む）、会計監査人等が、それぞれ法令に基づく機能を果たし、加えて当社独自で設置する経営会議、経営監査室（内部監査部門）その他の業務執行や内部牽制に係る組織によって当社ガバナンス全体の体制とシステムを構築し運営されています。

海外関連会社においても、それぞれの国の法令等に基づく機関や当社の内部組織によって内部統制が実施されています。

グループ経営ビジョンを通してグローバルに企業文化や価値観を共有するとともに、海外拠点経営者会議をはじめとするマブチグループ全体の会議の開催や経営監査室による海外関連会社の業務監査の実施などにより、マブチグループ全体の内部統制機能の向上に努めています。

また、当社は「内部統制基本方針」を制定し、リスクマネジメント体制やコンプライアンス体制の更なる強化、充実を図っています。

コーポレートガバナンス体制（模式図）



コンプライアンス

小冊子「マブチモーター倫理規範」

当社が経営理念として揚げております「国際社会への貢献とその継続的拡大」を実現してゆく上で、各国・地域の各種法令・条例・規則などを遵守するのは勿論のこと、社会から求められる企業倫理に沿った事業活動を行うことを大前提としています。

当社は、それらの行動や判断の基準を定めた小冊子「マブチモーター倫理規範」を発行し、本社全役員・社員に配布しています。

「マブチモーター倫理規範」は、時代とともに変化するビジネス環境に適応するため、2006年に初版発行した記載内容を見直し、その後の社会的要請が強まった事項等の充実を図り、新版「マブチモーター倫理規範」小冊子を2009年年初に全社員に発行しました。

倫理規範の中でも特に重要な項目については、ルールや手順を整備し、また、必要な対象者に教育・研修を行い、その周知徹底を図っています。

2009年度は、4月に本社在籍者全員（役員も含む）に、eラーニングを実施し新版「マブチモーター倫理規範」の浸透を図りました。

また、継続的に本社の内部監査部門が、コンプライアンスに関するルールや手順の遵守状況、その他の倫理に反する行為等について、海外関係会社を含め、定期・不定期に監査を行い、その結果を経営トップに報告しています。

倫理規範小冊子

加えて、重要な海外関連会社においては、内部監査部門を設置し、コンプライアンスに関する監査結果を報告させています。これらの仕組みにより、正しく幅広い内部情報を把握することができ、経営トップによる適切な対応を可能としています。

倫理規範ホットライン

コンプライアンスに関する情報の伝達や相談について、通常のルート（上司や組織部門の窓口など）とは別に、内部監査部門が管理する匿名性が確保された「倫理規範ホットライン」を当社内に設置しています。

また、この制度の利用の如何に拘らず、公益通報者保護法を遵守し相談者の不利益を発生させないことを会社が約束するトップメッセージを役員を含む全社員に発信しています。

当社は、お取引先様とは日頃から誠実で公正なお取り引きと相互信頼関係の構築に努めています。昨今の社会的不祥事が多発している情勢に鑑み、問題発生の未然防止ならびに拡大防止体制を強化するために、「倫理規範ホットライン」の対象範囲を2008年より、当社社員からお取引先様の一部にまで拡大しています。

【倫理規範基本方針（概要）】

1. マブチグループのすべての役員・社員は、会社の利益や業務に優先して、会社所在国・地域の法令・条例・規則及び国際ルールを守ります。
2. お取引先様を始め、株主・投資家、地域社会など広範な利害関係者への責任を十分認識し、社会倫理に反する行為を厳に慎みます。
3. 法規則、社会倫理の中でも特に注意を要する事項に関しては、規定類などに明確に記載し、周知徹底を図ります。そして、すべての役員・社員は、これらを誠実に守ります。

活気のある職場づくり

当社は「人を最も重要な経営資源と位置づけ、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる」を人材育成方針として、会社だけではなく「社会＝国際社会」に貢献できるような社会人・国際人の養成を目指しています。

企業活動を通じて、国際社会の進歩と発展に寄与することこそが、当社が存在する意義と考えています。

人材育成プログラム

当社は学習する組織風土の醸成と専門知識・技術レベルの向上を目指し、社内全部門が足並みを揃えて専門教育の充実を図っていくために、各部門において早期にスペシャリストを育成するための体系を整備しています。

短期実務交流制度

本社と海外拠点の人材交流を推進することで、マブチグループの結束を強め、総合力の向上を図っています。具体的には海外拠点スタッフの本社への出張機会を意識的に設け、実務を通じた交流により、考え方の共有・協働意識の醸成を促しています。

資格取得奨励制度

社内に「自ら学ぶ風土」を醸成し、業務遂行に役立つ知識を幅広く習得することを狙いとして「資格取得奨励制度」を設け、自己啓発を促進しています。

人事評価制度

当社の人事評価制度は、会社業績に貢献するために社員の力を結集させていくマネジメントのツールですが、人材育成のツールとしても積極的に活用しています。

その評価制度は、業績の最大化を目指して様々な役割を果たす社員個人の貢献を的確に把握し、会社の成長と社員の成長がともに実現できることを志向し構築されています。

社員の貢献度を的確に評価へ反映させるためには上司と部下のコミュニケーションが大切と考え、日常業務におけるコミュニケーションだけではなく、節目には中間面談や期末評価面談を制度として設け、密なコミュニケーションを図るようにしています。

自己申告制度

社員一人ひとりのやる気と能力を引き出し活用するためには、「適材適所」と「職場風土醸成」が重要と考えており、それを検討し実現する上での必要情報として、社員の職務に対する意識を把握することを目的とした定期的な社員の自己申告を実施しています。

家族参加型イベント

本社では経営者と社員、さらにその家族までもが有機的なつながりを確立し、結束力を強め、心を通じ合わせることが重要と考え、毎年秋に家族を招待し、「ガーデンパーティー」を開催しています。

ガーデンパーティー2009年の様子

管理職対象の「勉強会」

当社は社員一人ひとりが幸せな人生をおくることができる会社、すなわち社員一人ひとりが自分ならではの花を咲かせ、目を輝かせて仕事に取り組むことができる会社を志向しています。そのための活動の一環として、社員を導く役割を担う管理職を対象とした「勉強会」を立ち上げ、管理職の役割や部下との接し方について研修やディスカッションを継続的に行っています。

ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

ワーク・ライフ・バランスは、「仕事と生活の調和」と訳されます。当社では、仕事と生活のバランスを保つために、以下のような取り組みを行っています。

厚生労働省が奨励する「ファミリー・フレンドリー施策」（下図）を展開し、仕事と育児・介護が両立できるような環境をつくっています。また、同様の趣旨である千葉県主催の「社員いきいき！元気な会社宣言」活動にも賛同し、宣言企業として2008年に登録をしました。

ファミリー・フレンドリー施策の概要

1. 社員が仕事と子育てを両立できるよう法定を上回る「子が3歳に達する日まで育児休業の取得を可能」としたのを始め、育児休業中の社員に対し、「賃金の一部支給」及び、「育児休業中の自己啓発支援」などを導入

2. 子育てに関する支援としては、「不妊治療のための低利融資制度」や、「配偶者出産時休暇制度（有給休暇5日間）」の導入及び、「ベビーシッター育児支援割引券の利用」などの制度を導入

3. 社員が仕事と介護を両立できるよう「一つの要介護状態につき2回まで、合計365日間の介護休業取得を可能」としたことを始め、「介護休業中の自己啓発支援」や「勤務時間短縮や所定外労働免除等の措置の導入」及び、「介護クーポン（介護支援割引券）の利用」などの制度を導入

マブチグループにおける活動

マブチモーターの海外関連会社も、社員としての基本的権利を尊重し、適切な処遇を保証するとともに、社員が働きやすい職場作りに積極的に取り組んでいます。

■江蘇マブチ

2009年5月、長年に亘り労働争議の発生がなく、労使協調が特筆すべき会社であるとして、所在地の蘇州市から「労使関係調和企業」として表彰されました。同時に同社の片山総経理は、同社の工会（組合）活動を積極的に推進・協力した実績を称えられ、江蘇省総工会より「江蘇省五一労働栄誉奨章」を授与されました。この賞は江蘇省全体でわずか8名の授与でした。

■ダナンマブチ

ダナンマブチは、ベトナム労働法に定める社員の「労働契約・給与制度・医療保険・社会保険・組合活動」などの権利に対する法令の遵守が評価され、2009年度にダナン市労働局から、ベトナム労働法遵守優秀企業として表彰されました。ダナン市による100%外資企業に対するこの種の表彰は、ダナンマブチが初めてです。

■ベトナムマブチ

ベトナムマブチは、会社と社員との一体感を醸成するために、組合を通じて毎年、学校で優秀な成績を修めたり他の社会活動で高い評価を受けた社員の子供たちを表彰しています。

教育支援活動

当社は青少年をはじめとする多くの人々に「ものづくり」の大切さ、素晴らしさを体験してもらい未来を担う若き技術者の育成と科学技術の発展に寄与する支援活動を行っています。

ロボットコンテストへの協賛

当社は、継続的に「高専ロボコン」「大学ロボコン」「ＡＢＵロボコン」に協賛し、大会運営支援やモーターの提供などを行っています。この協賛により、世界中の学生に「ものづくり」の楽しさ、大切さを体感してもらい、ここから未来を担う技術者がたくさん生まれてほしいと願っております。

高専ロボコンへの協賛

2009年11月に両国国技館で開催された「高専ロボコン2009 全国大会」では、地区大会を突破した25校が、自慢のマシンを駆使して熱戦を繰り広げました。
大賞は広島商船高等専門学校チームが獲得しました。

大学ロボコンへの協賛

2009年6月に「ＮＨＫ大学ロボコン2009」（代々木国立オリンピック記念青少年センター）が開催され、豊橋技術科学大学チームが優勝しました。また、チャレンジ精神を評価され、筑波大学チームがマブチモーター賞を獲得しました。

ＡＢＵロボコンへの協賛

2009年8月に「ABUロボコン（ABUアジア・太平洋ロボットコンテスト2009東京大会）」が開催され、アジア・太平洋地域の19の国と地域から、20チームが参加しました。大賞は中国ハルビン工業大学チームでした。マブチモーター賞はモンゴルチームが獲得しました。

小学生への教育支援

当社は、次代を担う子ども達への教育支援活動を行っています。

出前授業の実施

平成20年度経済産業省委託事業の「社会人講師活用型教育支援プロジェクト」の主旨に基づき、社会貢献活動の一環として当社本社社員による出前授業推進チームを発足しました。
千葉県内の小学校を対象とし、理科の単元である「電磁石の性質」を発展させた授業を実施しています。

夏休み工作教室を開催

2008年から当社は、小学生を対象とした工作教室を実施しています。2009年度は、6回開催しました。
多くの子ども達にレンツの法則や、フレミングの左手の法則を用いて回る不思議なコマを工作して頂きました。

職場体験の受け入れ

本社では、地域の小学生のキャリア教育の一環で行われている職場体験を受け入れています。実際の職場の体験や働く人と接することで、子ども達に実社会と関わってもらい、勤労観、職業観の育成や生き方を考えさせるという学習活動の一助となるよう、協力させて頂いています。

海外子会社による教育支援

大連マブチは、「希望工程」（中国の子どもたちの就学支援プログラム）に賛同し、1996年から地域の希望小中学校の校舎建設を支援しています。

1996年　大連荘河市虹橋マブチ希望小学校 新校舎建設を支援
2001年　大連瓦房店市閻屯マブチ希望小学校 新校舎建設を支援
2002年　大連普蘭店市同益マブチ希望小学校 新校舎建設を支援
2007年　鞍山市岫岩県蘇子溝鎮マブチ希望小学校 新校舎建設を支援
2009年　鞍山市岫岩県蘇子溝鎮マブチ希望中学校 新校舎建設を支援

希望中学校落成式の様子

2009年、鞍山市岫岩県蘇子溝鎮マブチ希望中学校 新校舎建設を支援し、落成式には、体育用品を贈呈しました。

また、1997年から奨学金制度を設け、小中学生、障害者学生、高校生、大学生の就学が困難な家庭の経済的負担を軽減し、学生たちが学業に励み社会に有用な人材に成長できるよう支援しています。

1997年　マブチ荘河、瓦房店、普蘭店、金州高校奨学金を設立
2003年　マブチ瓦房店老虎屯鎮小学、中学校奨学金を設立
2003年　マブチ大連民族学院大学生奨学金を設立
2004年　マブチ大連開発区身体障害者奨学金を設立

大連マブチ奨学金制度

2009年度に大学に入学する奨学金を受けていた学生40名に、旅行カバンと万年筆を贈呈しました。

ベトナムマブチでも、教育支援活動の一環として、地元学生に対し奨学金制度を実施しています。

ベトナムマブチによる奨学金

ベトナムマブチの馬場副総経理がドンナイ工業技術中学の奨学金受給者へ2009年度奨学金を贈呈しました。

自然保護への貢献

マブチグループでは、地域住民の生活向上と自然保護のため、ボランティア活動に積極的に参加しています。

緑化活動

地域社会の緑化を推進するため、植林活動などを行っています。

本社ビル前の緑化

本社社屋建築時に、地域社会との共生を目指し、200㎡の土地を市に無償提供しました。歩道の拡幅とともに植えた桜が、今では写真の様に目を楽しませております。

台湾マブチの緑化活動

台湾マブチは長年の間、会社周辺の緑化を社員のボランティアで行っています。

香港マブチ（広東工場）の緑化活動

香港マブチ（広東工場）の社員が地元の植林活動にボランティアとして積極的に参加しています。

清掃活動

会社所在地周辺地域の清掃をボランティアとして定期的に行い、地域の美しい環境作りに貢献しています。

香港マブチ（広東工場）の清掃活動

香港マブチ（広東工場）の社員が会社所在地域の無断で貼られた広告などの掃除にボランティアとして参加しています。

大連マブチの清掃活動

大連マブチの社員により立ち上げた「環境保全ボランティア協会」のメンバーが、定期的に会社周辺地域の清掃活動を実施しています。

江蘇マブチの清掃活動

総経理、社員問わず率先して、工場周辺の町の清掃を実施しています。

地域支援活動

当社は、自然災害による被災後の復興支援および社会福祉に積極的に協力しています。

災害･復興支援

自然災害に見舞われた被災地への寄付活動を行っています。

2008年に発生した四川大地震の復興支援（継続実施）

香港マブチ（広東第二工場）の従業員は四川大地震被災地の復興支援のため、2009年も継続して募金活動を実施しています。

江蘇マブチでも香港マブチと同様に募金活動を続けています。

台湾台風被害における支援活動

2009年8月上旬に発生した台風8号（マラコット）は、フィリピン、台湾、中国に甚大な被害をもたらしました。特に台湾においては、過去50年間で最大の台風被害と言われております。

台湾の被災地に対し、マブチグループとして義援金を贈りました。

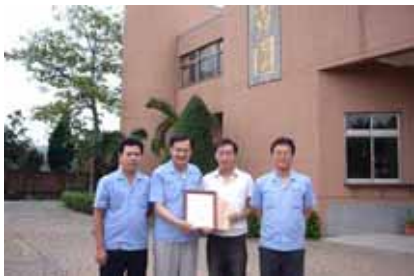
社会福祉･地域社会への貢献

地域のボランティア活動に参加し、一人暮らしのお年寄り、孤児院や養護施設への訪問･介護の支援活動を行っています。

ベトナムマブチ社会福祉活動

中秋節に毎年、所在地域の孤児院と障害児センターへ月餅を届けています。

台湾マブチ社会福祉活動



定期的に所在地域の孤児院や養老施設を訪問し、寄付活動を実施しています。

香港マブチによる衣服、学用品の提供

中国青海省称多県の小学生、及び孤児院の児童に衣服と学用品を寄付しました。

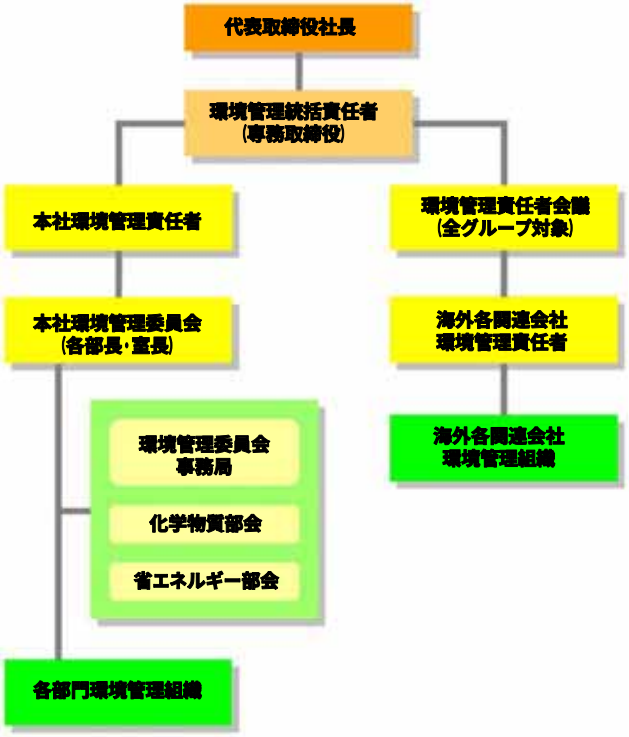
献血活動

マブチグループは、それぞれの地域で献血への協力を積極的に行っています。写真は台湾マブチ社員が献血している様子です。

環境マネジメントシステム

当社は環境経営を重要なテーマとして捉え、グループ全体の環境管理統括責任者を置き、全拠点で統一した環境マネジメントシステムを展開しています。

環境管理組織図



環境管理責任者会議の開催

当社は、2000年から本社および海外関連会社の環境管理責任者で構成される「環境管理責任者会議」を開催しています。2009年度は、12月に「第10回環境管理責任者会議」を開催しました。

2009年度は、各海外関係会社の環境管理責任者が一同に会して行っていた会議を、ビデオ会議方式に変更しました。

この会議では、2009年度のマブチグループの主な環境活動実績をまとめた上で、2010年度のマブチグループの環境目標を制定しました。

特に、「環境負荷物質の使用規制」及び「CO_2排出量の削減活動」をこれからの重点取り組み課題とすることを再確認しました。

2009年度　環境管理責任者会議の様子

環境基本方針

1. 地球環境に配慮した企業活動を行うための環境マネジメントシステムを確立し、継続的改善に努める。
2. 環境関連の法規制およびその他の要求事項を遵守するとともに、積極的に自主基準を設定し管理する。
3. 限りある資源を最大限有効に活用するために、省エネルギー、リサイクル及び廃棄物の減量化に積極的に取り組む。
4. 環境に負荷を与える物質は可能な限り代替物質への転換を行う。
5. 従業員の環境に対する意識の高揚を図るため、積極的な教育・広報活動を行う。
6. 環境方針は全従業員に周知するとともに、必要に応じて外部の利害関係者にも開示する。

ISO 14001 認証取得状況

当社は1999年12月に環境に関する国際規格であるISO 14001を本社が取得し、その後、海外生産拠点においても同認証を順次取得し、2001年に当時の海外生産拠点すべてで認証取得を完了しました。以降、新拠点の設立にあわせ認証を取得しています。

2009年には、本社を中心としたマブチグループとしての一括認証を達成し、全拠点で統一した環境マネジメントシステムとして展開しております。

これからもマネジメントシステムの適切な運用と継続的改善を図っていきます。

外部認証機関による定期審査

マブチグループ ISO 14001 認証取得状況

ISO14001一括認証の情報

一括認証　年月日	2009年9月15日 (有効期限　2011年7月1日)
審査機関	BSI (British Standards Institution)
環境システム規格	ISO14001:2004

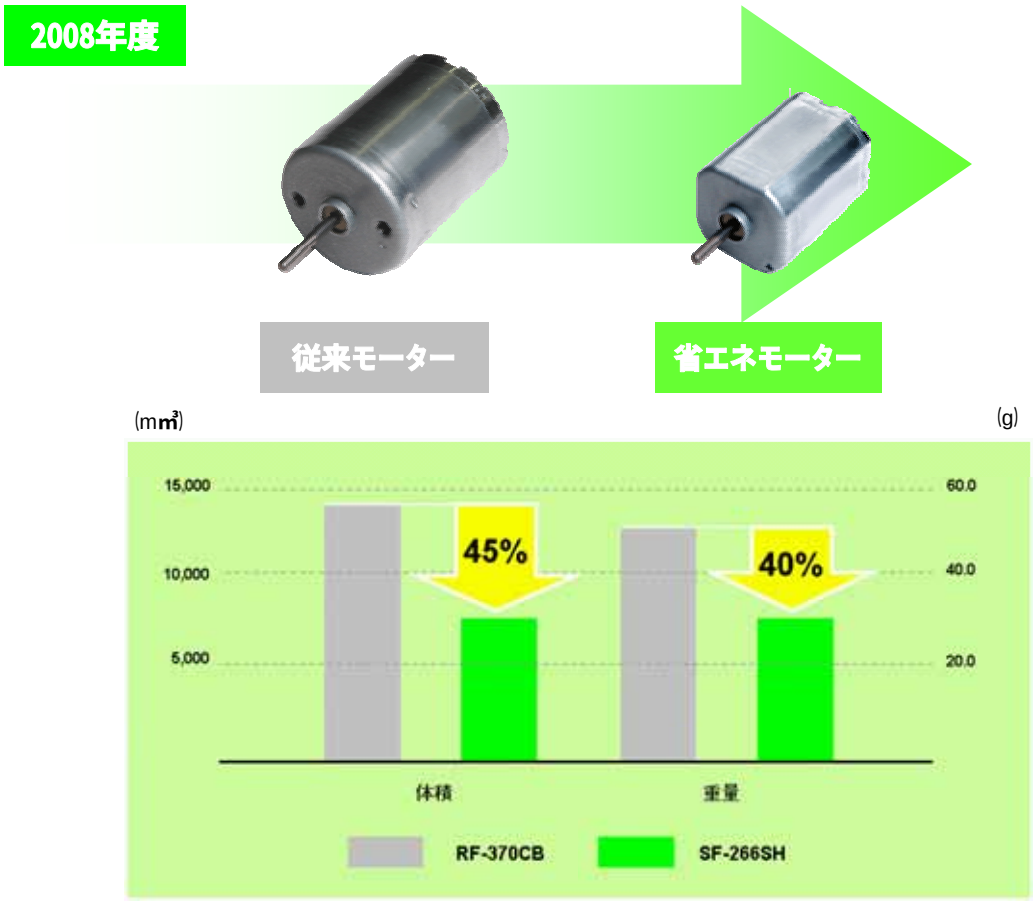
ISO14001初回認証年月日

拠点	初回認証年月日
マブチ本社、技術センター (日本)	1999年12月　2日
萬寶至實業有限公司 (香港マブチ、広東工場)	2000年12月11日
万宝至馬達大連有限公司 (大連マブチ、瓦房店マブチ)	2000年　8月17日
華渊電機 (江蘇) 有限公司 (江蘇マブチ)	2000年　8月10日
MABUCHI MOTOR VIETNAM LTD. (ベトナムマブチ)	2001年　3月16日
MABUCHI MOTOR DANANG LTD. (ダナンマブチ)	2008年　7月21日
華渊電機工業股份有限公司 (台湾マブチ)	2000年12月　6日
萬寶至馬達股份有限公司 (高雄マブチ)	2000年　3月14日
万宝至馬達 (東莞) 有限公司 (東莞マブチ)	2008年　1月24日
万宝至精工 (東莞) 有限公司 (路東マブチ)	2009年　4月27日

小型省エネモーターの開発

当社は「小型直流モーター」の専業メーカーとして、さまざまなニーズに応えながらモーターのもつ新たな可能性を追求し、市場を革新するモーターを開発・提供してきました。モーターの品質・性能の向上は当然の研究テーマでありますが、モーターの製造から廃棄までを通じて、いかに地球環境への負荷を少なくするかということも重要な研究テーマになっています。

当社は、音響・映像分野において、1980年後半からモーターの小型化に取り組んできました。近年はさらにこの考えを発展させ、モーター性能（トルク、回転数）は従来型と同等とした上でモーター重量・体積1／2を目指した小型省エネモーターの開発に取り組み、2008年に1機種（SF-266SH）の量産を開始致しました。



モーターの小型化により、

・使用する素材を少なくしてモーター製造時に発生する二酸化炭素を抑制
・モーター重量の軽量化による、自動車用途などに使用時の燃費向上

が実現します。

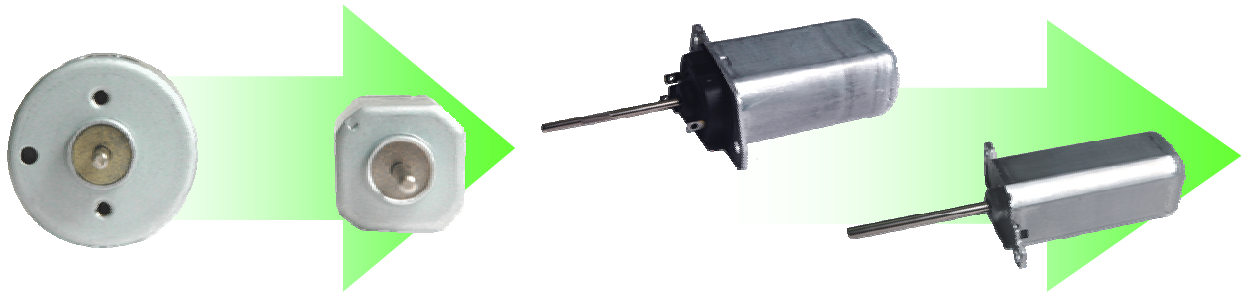
モーターの性能（トルク、回転数）を従来型と同等とすることにより、お客様には今までと変わらない性能を保ちながら省エネルギーを実現していただけるものと考えています。

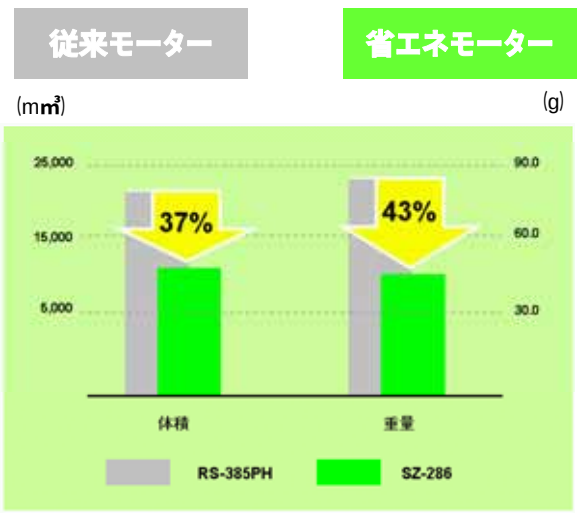
この省エネ型モーターを、2009年度は新たに2機種追加することが出来ました。（SZ-286／SZ-466WB）この2機種はCO_2削減のみではなく、最近問題視されている電磁波環境にも配慮した低電気ノイズモータとなっております。

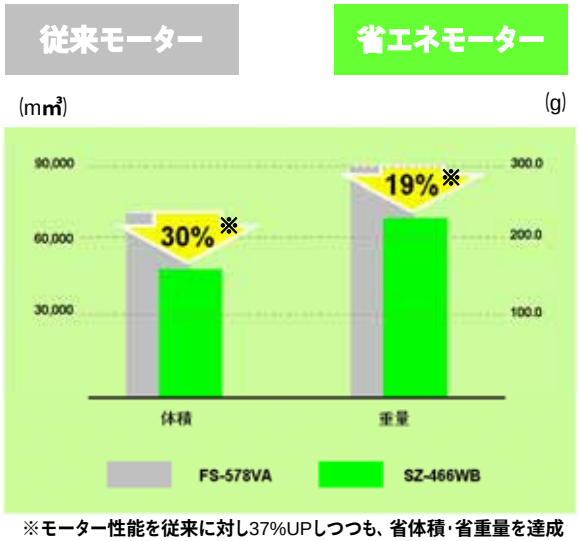
ひとくちに、モーター重量・体積1/2を目指すといっても簡単に成し得るものではありません。マブチモーターが小型直流モーターの専業メーカーとして長年培ってきた、磁気回路技術、巻線技術、部品精度技術があってこそ、モーター性能（トルク、回転数）を従来型と同等とした上で大幅な小型・軽量化を実現しました。

今後も省エネ型モーターのシリーズ化実現に向けて、更なる研究・開発を推進していきます。

2009年度







※モーター性能を従来に対し37%UPしつつも、省体積・省重量を達成

代表的用途：ランバーサポート
（ドライバーの腰を支える機能）

代表的用途：シートリフター
（座席の高さ調整）

グリーン調達の取り組み

当社では、製品に使用する部材を採用するにあたり、法令、規制、お客様要求に加え、当社独自の基準を設け、これらの基準に定めた環境禁止物質を含有していないことを確認しています。下図にありますように、お取引先様には、環境活動調査表に加えて、部品・材料に環境禁止物質が含まれないことを保証する書類を提出して頂いています。

お取引先様の選定にあたっては、従来より実施していた品質、コスト、納期に加え、お取引先様の各種の環境への取り組み状況も評価しています。

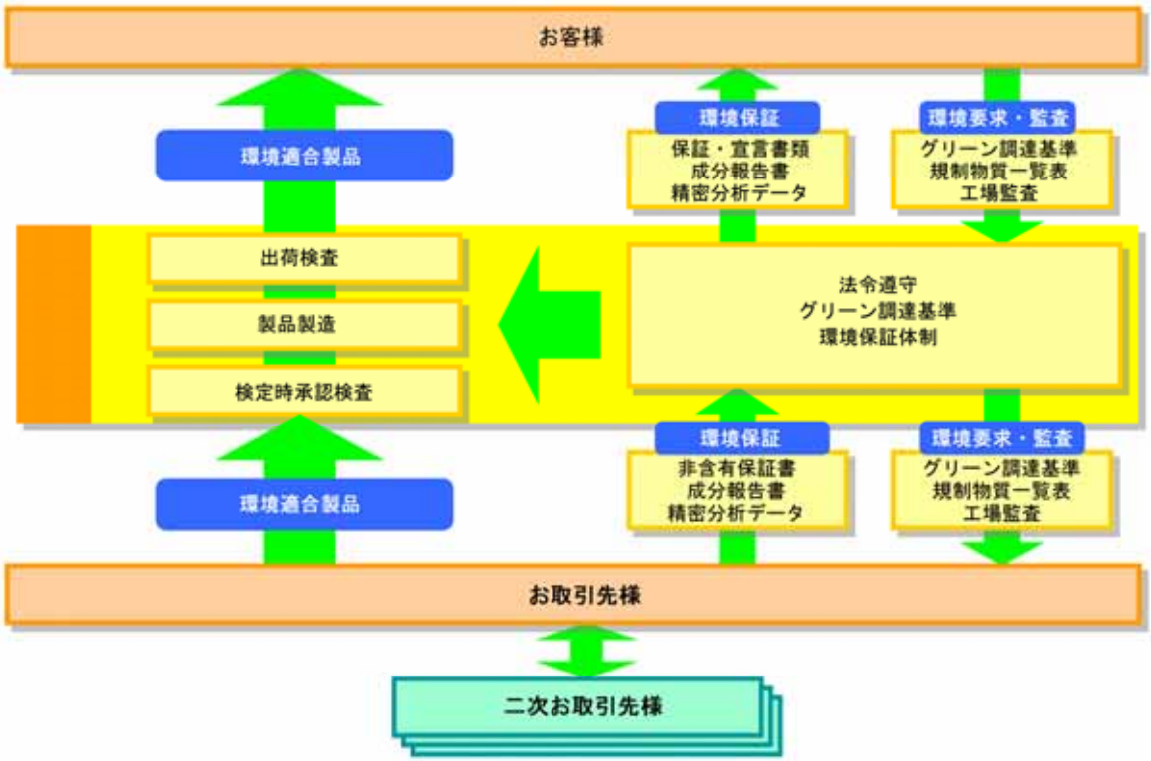
また、日常のお取引様とのコミュニケーションや環境負荷物質の使用・保管状況の監査活動を積極的に行っております。

これらの活動の結果、2006年度の欧州RoHS指令の施行から現在に至るまで、お客様よりの環境クレームは発生しておりません。

今後も、マブチグループは環境にやさしいモーター作りを行うために、グリーン調達活動を進めていきます。

大連マブチで実施されている社内環境禁止物管理教育

グリーン調達フローチャート



水資源の節約

**地球上の水資源には限りがあり、水不足は大きな環境問題となっています。
当社は水資源の節約にも様々な取り組みを実施しています。**

香港マブチ（広東工場）

香港マブチ（広東工場）は2009年度水資源節約のため、以下の取り組みを実施しました。

第一工場では、工場排水を浄化し、全工場のトイレ用水として再利用しています。この取り組みで第一工場は年間約8万トンの水使用量を節約できました。水資源の節約とともに、年間水道代、下水処理費用の節約ができました。

生活下水の浄化槽

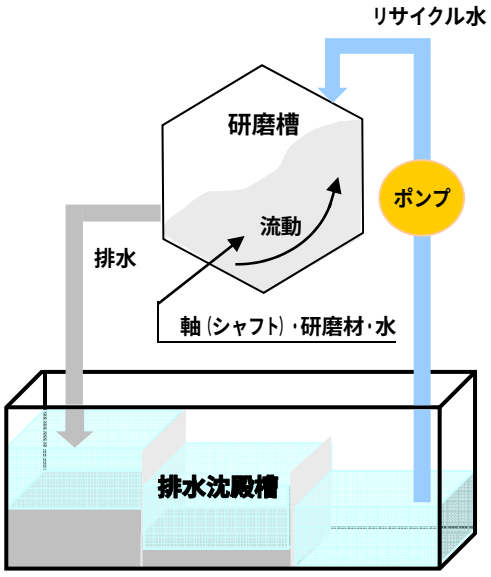
第二工場では、2009年度に雨水貯水システムを建設しました。貯水された雨水を工場内の樹木の散水に使用しています。2009年度は、年間約600トンの雨水を水道水の代わりに利用できました。

雨水貯水システムを利用した散水

東莞マブチ

モーターの動力を伝える軸（シャフト）は、用途と性能に応じた面取り加工を行います。この面取り方法の一つとしてバレルという工法を用いていますが、バレル工法は多くの水を必要とします。

当社は、水資源の節約のために当行程の節水工法の開発に取組み、2008年に路東マブチにて沈殿槽を用いて排水を再利用する工法を開発しました。東莞マブチでも2009年にこの工法を正式に採用し、年間1.3千トンの生産用水の節約ができました。



バレル工程節水工法イメージ図

地球温暖化防止の取り組み

当社は、世界規模の問題である地球温暖化に、全社を挙げてさまざまな取り組みを行っています。

2009年9月に、日本は国連気候変動サミットの開会式で、温室効果ガスの排出量を2020年までに1990年比で25%削減する目標を表明したように、地球温暖化防止の対策に対し、世界的規模で非常に厳しい対応を求められております。当社では、温室効果ガスの削減に対し、海外生産拠点を含めて全社活動として取り組んでいます。当社でのCO_2排出は、主に電気使用によるものです。このため、電気使用量の削減に注力し、省エネ設備の導入、工程の見直し等のさまざまな取り組みを実施しております。

ベトナムマブチのCO_2排出量削減の取り組み

ベトナムマブチでは、「CO_2の排出抑制と、より少ないエネルギーで同じ経済的効果をあげることを目標とする」との方針に基づいて、2009年度に以下の取り組みを実施しました。

- 不要な機器の停止
- 温度、照度の設定の見直し
- 工程、製造方法の見直し
- 設備、機器の補修、効率的な設備への取り替え
- 電力、ガス、石油製品を出来る限り節約する

2009年度は、ベトナムマブチ全体で使用している蛍光灯管約1万9千本を省電力、長寿命タイプの製品に交換しました。この取り組みにより、年間約34万2千kWhの電力使用量、約164(t-CO_2)のCO_2排出量が削減できました。

さらに、プレス工程では、今まで250Wの電球を使用していましたが、蛍光灯へ変更することによって、照度を確保しつつ、年間約2万8千kWhの電力使用量の削減ができました。

省エネ電灯に改修されたプレス工程

広東工場での太陽熱温水器の導入

香港マブチ（広東工場）は、社員寮の温水供給に用いる軽油の使用量を削減するために、2009年度に社員寮の屋上に太陽熱温水器（210㎡）を設置しました。

この太陽熱温水器は、冬でも晴れた日には、水温が60℃～70℃に達し、700人のシャワー用温水を供給することが出来ます。この太陽熱温水器を併用することで軽油温水機の単独使用より、年間約4千ℓの軽油使用量の削減ができ、軽油の燃焼によるCO_2の発生量を削減することに貢献しています。

社員寮屋上に設置された太陽熱温水器

屋上緑化への取り組み

香港マブチ（広東工場）の位置する地域は年間を通して気温が高く、多くの空調用電力を消費しています。この電気の使用量を削減するため、2009年度より屋上緑化に取り組んでいます。

広東第一工場では、生産棟の屋上に試験的にスイカズラを植えました。植物の成長に必要な水は、工場排水の再生水を使用しています。植木鉢には、廃棄品のプラコンを再利用しました。

また、東莞マブチでは、壁面緑化に取り組んでいます。これらの取り組みにより、空調電力の使用量削減が実現され、CO_2排出量の削減に貢献しました。

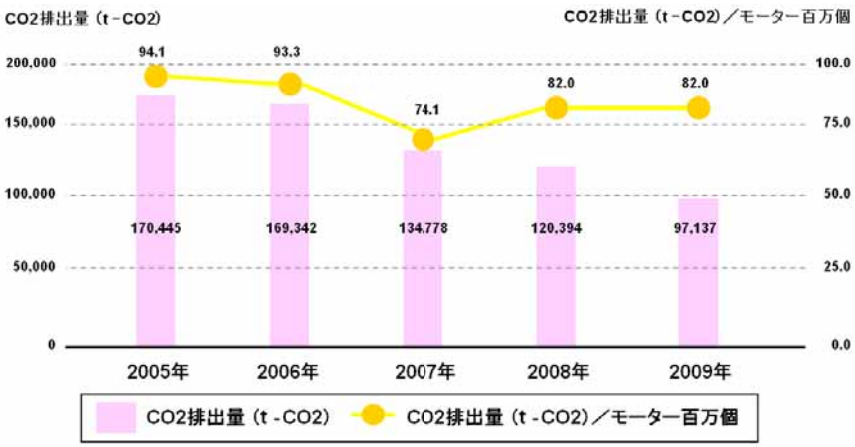
工場屋上に植えられたスイカズラ

工場スペースの効率的利用

このほか、マブチグループでは、継続的に生産工程や工場レイアウトの見直しによる工場のスペース効率向上を実施しております。台湾マブチでは、2009年度に工場のスペース効率の向上により、空調、照明電力の使用量を年間221万kWh削減し、1370(t-CO_2）のCO_2排出量の削減ができました。

合理化された生産現場

マブチグループのCO_2排出量の実績



環境コミュニケーション

社内外の環境コミュニケーション活動を積極的に実施しています。

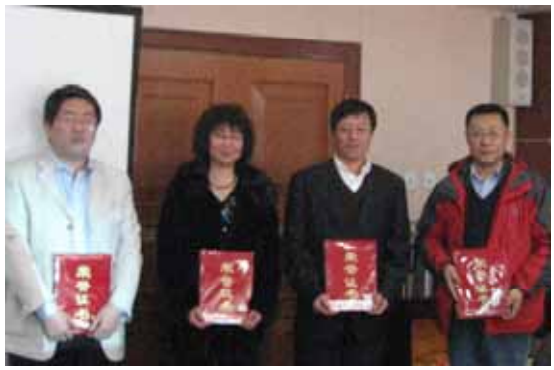
「環境を考える標語･ポスター作品」コンテスト

社員の環境意識の向上を図るために、マブチグループ全体で「環境を考える標語･ポスター作品」コンテストを、2006年より本社主催で毎年実施しています。

入賞作品の展示

大連マブチ発行の環境報告書が表彰

大連マブチは、自主的に環境保全活動実績を「環境報告書」として発行しており、その報告書の内容が、大連市環境保護局に評価され、2009年12月に「年度優秀報告書」として 表彰されました。



表彰を受けた大連マブチの蘭さん（左から2人目）

地域の環境保全意識の向上

マブチグループの社員は、様々な機会を利用して、地域の環境意識の向上に貢献しています。写真は香港マブチ（広東工場）の社員が、東莞市の龍船祭りに、地球資源保護の大切さを訴えるため、自ら古新聞で作ったドレスを着てパレードに参加している様子です。

古新聞ドレスをまとった社員

「インディストラクティビリティ賞」受賞

2009年6月にダナンマブチが「廃棄物の削減･リサイクル、環境システム運営･教育訓練･広報活動への取り組みに優れた企業」として、ベトナム企業資源環境省と科学＆技術協会からベトナムグリーントレードマーク「インディストラクティビリティ賞」を授与されました。

授賞式の様子

その他の環境対応

土壌汚染への対応

2002年に自主調査により本社敷地内の一部の土壌から環境汚染物質が検出されたため、管轄行政（松戸市）に汚染状況を届けるとともに、土壌の浄化作業を開始しました。

2004年には子会社であったマブチ精工株式会社の工場閉鎖に伴う土壌汚染状況の調査からも環境汚染物質が検出されたため、管轄行政（群馬県）に届けるとともに、土壌の浄化作業を開始しました。

上記2箇所における高濃度汚染域の浄化は完了しており、現在は軽微な汚染域の浄化を継続しています。早期に浄化を完了させるため、各種の浄化促進策を試みています。

2009年には、土壌浄化速度を上げるために、注水工法を取り入れました。さらに、ナノテクノロジー（超微細技術）を用いた工法で浄化確認も実施しています。

また、バリア井戸や矢板を施し、敷地外への影響がないように汚染物質の流出を防いでいます。

本社敷地内に設置された土壌浄化装置

環境データの報告

マブチグループの環境データを下記の通り報告いたします。

2008年度実績

種類	単位	本社	香港マブチ 東莞マブチ 臨東マブチ	台湾マブチ	高雄マブチ	大連マブチ 瓦房店マブチ	江蘇マブチ	ベトナムマブチ	ダナンマブチ
購買電力	万kWh	895	8,673	514	924	3,360	1,456	2,774	867
石油ガス	t	4	17	9	7	415	0	88	30
都市ガス	t	97	0	0	0	0	246	0	0
石炭	t	0	0	0	0	10,135	0	0	0
ガソリン	kl	11	278	7	7	11	45	18	12,041
軽油	kl	4	1,561	18	2	6	4	212	0
A重油	kl	0	0	0	0	0	0	0	0
総排出量	t	172	29,752	923	633	6,605	2,266	5,150	1,374
埋立廃棄物質	t	3	522	61	29	601	93	207	383

2009年度実績

種類	単位	本社	香港マブチ 東莞マブチ 臨東マブチ	台湾マブチ	高雄マブチ	大連マブチ 瓦房店マブチ	江蘇マブチ	ベトナムマブチ	ダナンマブチ
購買電力	万kWh	832	6,497	457	727	2,816	946	2,180	1,113
石油ガス	t	4	16	8	5	278	0	52	44
都市ガス	t	87	0	0	0	0	11	0	0
石炭	t	0	0	0	0	9,836	0	0	0
ガソリン	kl	10	277	11	5	10	37	16	12
軽油	kl	2	250	17	1	6	3	20	0
A重油	kl	0	0	0	0	0	0	0	0
総排出量	t	160	20,537	938	477	1,757	3,349	6,943	2,280
埋立廃棄物質	t	3	350	41	30	85	173	612	142

※上記環境実績データに、海外販売拠点及び鷹潭マブチは含まれていません。

MABUCHI MOTOR
マブチモーター株式会社

お問い合わせ

マブチモーター株式会社
管理本部　総務部

〒270-2280
千葉県松戸市松飛台430
TEL：047-710-1230
FAX：047-710-1141
E-Mail：kankyo@mabuchi-motor.co.jp
http://www.mabuchi-motor.co.jp